

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立島根小学校 校長 世取山 哲哉

1 学校教育目標

- ① 考える子：様々な問題を解決するために多様な考えをもてる子
- ② 心豊かな子：よりよい生活を目指して相手を尊重し、助け合う子
- ③ たくましい子：困難に直面してもあきらめず、より高い目標に向かい努力し続ける心と体をもつ子

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
- ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 13439 冊（蔵書基準冊数 9960 冊）／ 蔵書率 135%（前年度末 128%）									
	② 新規購入図書 882 冊 ／ 廃棄図書 426 冊 ／ 増減冊数 456 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2%	1%	7%	5%	12%	4%	4%	6%	2%	57%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、月～金の中休み・昼休み									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 51 冊（前々年度末： 47 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 67%（前々年度末： 75.9%）									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 11783 冊（蔵書基準冊数 10360 冊）／ 蔵書率 113%									
	② 新規購入図書 715 冊 ／ 廃棄図書 2481 冊 ／ 増減冊数 -1766 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2%	1%	8%	6%	12%	4%	4%	7%	2%	54%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、月～金の中休み・昼休み（前年度からの変更 あり <u>なし</u> ）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 51 冊（前年度末： 51 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 69%（前年度末： 67%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。									
	② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。									
今年度の成果目標					達成基準					
① 学校図書館を使う授業により、本を手にとる機会が増える。					① 各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。					
② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。					② 読書旬間等を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。					
③ 学校図書館の利用の仕方について知る。					③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%					
目標達成状況										
①各クラスで月2回以上の授業を図書館で行うことができた。										
②読書の記録を使用し、読書に興味をもたせ、年間一人当たり100冊以上の本を読むことができた。										
③図書館が新しくなり、利用の仕方を確認し、自分たちで本を探ることができるようになった。										

第2学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館の利用の仕方を守りながら、自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。		① 各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行い ② 読書旬間等を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。
目標達成状況		
① 週1回の図書の時間や、年間2回の読書旬間を利用し、一人当たり118冊の本を読むことができた。 ② 図書館を使った調べる学習の授業を通し、自分で調べたいことを見つけ、本で調べ、ポスターにまとめることができた。		
第3学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館の利用の仕方を守りながら、色々な読み物に興味を持ち読書することができる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。		① 読書旬間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ② 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。
目標達成状況		
① 図書の時間を利用して興味のある本を借りていた。年間平均60冊以上読むことができた。 ② 全教科を通して本を利用した調べ学習を推進できた。特に「国語、社会科、総合的な学習の時間」。 ③ 教科書に載っている作者の本を紹介したことで、さらに本の幅が広がった児童が多い。		
第4学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。 ② 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ③ 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。		① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が10%以上。
目標達成状況		
① 読み聞かせや調べ学習をして、本に興味をもたせ、年間一人あたり60冊以上の本を読むことができた。 ② 読書カードを作成して、友達の紹介した本に興味をもたせ、色々な本を読むことに繋がった。 ③ きまりを守って学校図書館を利用することができた。		
第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。 ② 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ③ 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。		① 各クラス月1回以上、読書や探求活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり30冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が20%以上。
目標達成状況		

① 総合的な学習の時間に図書室を活用した学習活動ができた。 ② 年間一人30冊を達成した。長文の分厚い本を読むことが多くなった。 ③ 調べる学習コンクールへの参加は10%程度。しかし、総合的な学習の時間を使って調べる学習コンクールのまとめ方を全員が経験した。	
第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。 ② 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ③ 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり30冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が30%以上。
目標達成状況	
① 読書旬間を中心に、月に1回以上読書活動に取り組むことができた。 ② 1年生の読み聞かせ活動や読書旬間を通して、年間一人当たり40冊以上の本を読むことができた。 ③ 90%以上の児童が調べる学習コンクールに参加した。	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果	
取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 新規購入図書の受け入れ、登録作業を前期中に完了する。 ② 教職員全員が、図書の新規購入に関わることができるような場を設ける。 ③ 図書館改修工事後すぐに稼働できるよう、夏期休業中に図書の配置を決定し配架を行う。	① 新規購入図書は改修工事完了後に受け入れ、登録作業を行った。 ② 巡回図書販売を利用し、全教員が図書の新規購入に関わることができた。 ③ 図書の配架を速やかに行い、夏季休業明けから稼働することができた。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ② 学校図書館を使った授業での調べ学習や、調べる学習コンクールに必要な教材・資料について、積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ③ 図書館改装に向け、教員、支援員と協力し廃棄本の選出を行う。	① 1年生のオリエンテーションの100%実施。ブックトーク、レファレンスなど様々な場面で連携・協同に取り組んだ。 ② 学校図書館スーパーバイザーの提案授業や、通常の授業でも本のレファレンス対応など、積極的に協同し取り組んだ。 ③ 支援員に相談しながら、全教員が廃棄本の選出に関わった。
【その他】 ① 図書館改修工事後の館内レイアウト、図書配架場所を検討する。 ② 図書館改修工事後の配架のために、夏季休業に入る前に全部返却してもらい、本の貸し出しを中止する。	① 学校図書館スーパーバイザーにアドバイスをいただき、配架場所を決定した。 ② 貸出中の本を全部返却処理し、配架場所に戻すことで、分類ごとの図書のスペースを把握することができた。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

成果

- ・今年度は学校図書館改修工事が入り、夏季休業前から貸し出しができなかったが、年間の貸出冊数は、昨年に比べて大きな減少は見られなかった。理由として、改修後の児童の来館頻度が高くなったことが上げられる。
- ・図書の時間を確保することが難しい高学年だが、朝学習・隙間時間を使い、積極的に図書館を利用していった。

課題・改善

- ・図書の検索をかけると見つからない本が多くあったため、全職員・支援員と協同し、長期休業中に蔵書点検を行う。
- ・総貸出冊数の内、児童以外の貸出が2%と少なかった
来年度はクラス単位・学年単位での貸出を増やしていく。
- ・図書館内で「調べる学習」を行う際、一人当たりのスペースが狭く、調べてまとめる作業が難しそうだった。
図書館用のテーブルを2台購入申請している。2台増えることで、1テーブル4～5人で使用することができ、作業スペースの確保に繋がる。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

- ・学校図書館改修に伴い、古い資料を多く除籍したことで「調べる学習」に適した、3・4・5類の資料を新しく選書することができた。
- ・児童が図書館に足を運ぶようなイベントを月1ペースで行うことで、貸出につながるのではないかと感じた。